本書の構成

本書をお読みになる前に

安全にお使いいただくための注意事項や、本書の表記について説明しています。必ずお読みください。

第 1 章　ご購入後の操作

お買い求めいただいたパソコンを使えるようにするための操作を説明しています。必ず、本書の手順に従って操作してください。

第 2 章　快適にお使いいただくために

コンピュータウイルスや、画面の設定方法などについて説明しています。

第 3 章　リカバリとインストール

本パソコンをご購入時の状態に戻す「リカバリ」とソフトウェアの「インストール」について説明します。

第 4 章　困ったときに

おかしいなと思ったときや、わからないことがあったときの対処方法について説明しています。

第 5 章　技術情報

留意事項について説明しています。

目次

本書をお読みになる前に 5

本書の表記 5

第 1 章　ご購入後の操作

1 セットアップ 10

Windows セットアップ 10

ユーザー登録を忘れずに 12

Windows 起動ディスクを作成してください 13

リカバリ CD-ROM 起動ディスクの準備
（CD-ROM ドライブなしモデルをお使いの場合） 13

2 プレインストール仕様 15

ソフトウェア一覧 15

デバイス一覧 18

ドライブ構成 19

アプリケーションのアンインストール 19

第 2 章　快適にお使いいただくために

1 コンピュータウイルス対策 24

VirusScan 24

コンピュータウイルスを発見した場合 25

コンピュータウイルスの被害届け 25

2 MS-DOS モードで CD-ROM を利用する 27

MS-DOS モードで CD-ROM をご使用になる場合 27

3 画面を設定する 28

解像度と色数 28

第 3 章　リカバリとインストール

1 リカバリ 30
リカバリの概要 30
リカバリ方法 31
ハードディスクの領域を設定する 33
2 ソフトウェアライブラリのアップデート 38
アップデート方法 38
3 ソフトウェアのインストール 39
ドライバのインストール 39
OS 追加プログラムのインストール 39
プレインストールソフトのインストール 41
添付ソフトのインストール 42

第 4 章　困ったときに

1 こんなときには 46
トラブル発生時の参照先 46
トラブルシューティング 46
2 それでも解決できないときは 49
お問い合わせ一覧 50
お問い合わせ前の確認シート 51

第 5 章　技術情報

1 その他の留意事項 54

索引 59

Memo

本書をお読みになる前に

本書の表記

本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
重 要	お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
POINT	ハードウェアやソフトウェアを正しく動作させるために必要なことが書いてあります。必ずお読みください。
▶	参照ページや参照マニュアルを示しています。

キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例：【Ctrl】キー、【Enter】キー、【→】キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「＋」でつないで表記しています。

例：【Ctrl】＋【F3】キー、【Shift】＋【↑】キーなど

コマンド入力（キー入力）

本文中では、コマンド入力を次のように表記しています。

```
diskcopy  a:  a:
         ↑   ↑
```

- ↑の箇所のように文字間隔を空けて表記している部分は、【Space】キーを 1 回押してください。
- コマンド入力を英小文字で表記していますが、英大文字で入力してもかまいません。
- CD-ROM ドライブのドライブ名を、［CD-ROM ドライブ］と表記しています。入力の際は、お使いの環境に合わせて、ドライブ名を入力してください。

  ［CD-ROM ドライブ］:¥setup.exe

画面例

本書に記載されている画面は一例です。実際に表示されるウィンドウやファイル名などとは異なる場合があります。ご了承ください。

連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつなげて記述しています。

例：「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」をポイントし、「アクセサリ」をクリックする操作

↓

「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」の順にクリックします。

BIOS セットアップの表記

本文中の BIOS セットアップの設定手順において、各メニューやサブメニューまたは項目を、「－」（ハイフン）でつなげて記述する場合があります。

例：「メイン」メニューの「フロッピーディスク A」の項目を「使用しない」に設定します。

↓

「メイン」－「フロッピーディスク A」：使用しない

CD-ROM ドライブ

CD-ROM ドライブが搭載されていないモデルの場合、各ドライブが必要な操作では、別売のオプションを用意してください。使用できるオプションについては、『システム構成図』をご覧ください。

オプションの使用方法についてはオプションのマニュアルをご覧ください。

お問い合わせ先／ URL

本文中に記載されているお問い合わせ先や WWW の URL は 2000 年 10 月現在のものです。変更されている場合は、FM インフォメーションサービスへお問い合わせください（••▶『修理サービス網一覧表』参照）。

製品の呼びかた

本書に記載されている製品名称を、次のように略して表記します。

製品名称	本書での表記	
Microsoft® Windows® Millennium Edition	Windows Me	Windows
Microsoft® Windows® 98 operating system SECOND EDITION	Windows98	
Microsoft® Windows® 95 operating system	Windows95	
Microsoft® Windows® 2000 Professional	Windows2000	
Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0	WindowsNT	
Microsoft® MS-DOS® operating system Version 6.2/V	MS-DOS	
NIFTY MANAGER for Windows Ver 5.12	NIFTY MANAGER	
USB Supplement for Windows® 95	USB	
VirusScan Ver.4.5 SR-1	VirusScan	
Power MANagement for Windows	PMAN	
Adobe® Acrobat® Reader 4.05	Acrobat Reader	
リカバリ CD-ROM ／ドライバーズ CD ／マニュアル CD	リカバリ CD-ROM／ドライバーズCD	

機種名表記

本文中の機種名表記は、次のようになっています。機種名を確認してください。

機種名	本文中の表記	
FMV-6933SL6/6800SL6/6667SL6c	〔SL6〕	本パソコン パソコン本体
FMV-6933CL6/6800CL6/6667CL6c	〔CL6〕	

Microsoft、Windows、MS、MS-DOS、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
VirusScan は、米国 Network Associates 社及び関連会社の商標又は登録商標です。
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright© 富士通株式会社 2000
画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。

Memo

第 1 章

ご購入後の操作

お買い求めいただいたパソコンを使えるようにするための操作を説明しています。必ず、本書の手順に従って操作してください。

1　セットアップ 10
2　プレインストール仕様 15

1 セットアップ

初めて電源を入れたあとに行う Windows の初期設定（Windows セットアップ）について説明します。必ず、本書の手順に従って操作してください。

Windows セットアップ

次の「留意事項」をよくお読みになり、電源を入れて Windows セットアップを始めます。

留意事項

- Windows セットアップを行う前に、オプションを取り付けないでください。
  Windows セットアップを行う前にオプションを取り付けると、Windows セットアップが正常に行われない場合があります。
- Windows セットアップ時に音が鳴るので、スピーカーを接続している場合はボリュームを調整してください。
- Windowsセットアップの各ダイアログボックスが完全に表示されないうちにキーを押すと、Windows セットアップが正常に行われない場合があります。ダイアログボックスが完全に表示されてから、マウスで操作してください。
- Windows セットアップの途中で、しばらく操作をしないと、画面が真っ暗になります。これは、本パソコンの省電力機能によるものです。本パソコンの電源は切断されていないので、電源を切らないでください。電源を切ると、本パソコンのデータが壊れ、正常に動作しなくなる場合があります。
- 画面が真っ暗になった場合は、マウスを操作してください。Windows のセットアップ画面が表示され、操作を続けることができます。
- 電源を入れたあと、画面が中央に表示されない場合は、ディスプレイの設定機能を使用して調整してください。

セットアップ

1 パソコン本体右側面の Product ID（Product Key）を確認し、書き留めます。

セットアップ中に必要になります。必ず書き留めてください。

□□□□□－OEM－□□□□□□□－□□□□□

2 本パソコンの電源を入れます。

しばらくすると「Windows 95 セットアップウィザード」ダイアログボックスが表示されます。

3 「名前」と「会社名」を入力します。

POINT

- 「会社名」は省略できます。
- 会社などでパソコンを共有して使用する場合は、「名前」のかわりに部署名などを入力することもできます。

4 「次へ」をクリックします。

使用許諾契約書が表示されます。
「使用許諾契約書」とは、本パソコンにあらかじめインストールされている Windows を使用するうえでの契約を記述したものです。

5 「使用許諾契約書」をよく読み、「同意する」をクリックして「次へ」をクリックします。

POINT

- 「同意しない」を選択した場合は、「次へ」をクリックしたあと、メッセージに従って操作してください。

Product ID（Product Key）を入力するダイアログボックスが表示されます。

6 手順1で確認したProduct ID（Product Key）を入力し、「次へ」をクリックします。

「ウィザードの開始」ダイアログボックスが表示されます。

7 「完了」をクリックします。

「このコンピュータをネットワーク上で識別するために、コンピュータ名とワークグループ名が必要です。」と表示されます。

8 「OK」をクリックします。

「ネットワーク」ダイアログボックスが表示されます。

9 「コンピュータ名」と「ワークグループ」を入力し、「閉じる」をクリックします。

重 要

- ここでは、「コンピュータ名」と「ワークグループ」、および「コンピュータの説明」以外の設定を行わないでください。他の設定を行うと、Windows セットアップ中にエラーが発生することがあります。他の設定は Windows セットアップ終了後に行ってください。なお、「コンピュータの説明」は省略することができます。
- 「コンピュータ名」と「ワークグループ」は半角英数字で入力してください。不明な場合は、ネットワーク管理者に確認してください。
- 「バージョンの競合」ダイアログボックスが表示されたら、すべて「はい」をクリックしてください。

ファイルのコピー終了後、再起動メッセージが表示されます。

10 「はい」をクリックします。

本パソコンが再起動し、「パスワード」を入力するダイアログボックスが表示されます。

11 「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、「OK」をクリックします。

POINT

- 「ユーザー名」と「パスワード」は半角英数字で入力してください。不明な場合は、ネットワーク管理者に確認してください。
- 「パスワード」は省略することができます。
- 「パスワード」を入力した場合、起動時に毎回「パスワード」を入力する必要があります。「パスワード」は忘れないでください。

「Windows パスワードの設定」ダイアログボックスが表示されます。

12 「新しいパスワードの確認入力」にもう一度「パスワード」を入力し、「OK」をクリックします。

「パスワード」を省略した場合は何も入力しないで「OK」をクリックします。

13 「日付と時刻のプロパティ」ダイアログボックスが表示されたら、「閉じる」をクリックします。

Microsoft Exchange の設定が行われます。しばらくすると、「プリンタウィザード」ダイアログボックスが表示されます。

14 「キャンセル」をクリックします。

POINT

- プリンタの設定は、Windows セットアップ終了後に行ってください。Windows セットアップ中に設定を行うと、正しく印刷できないことがあります。

再起動メッセージが表示されます。

15 「OK」をクリックします。

本パソコンが再起動し、「ネットワークパスワードの入力」ダイアログボックスが表示されます。

16 パスワードを入力し、「OK」をクリックします。

これで、Windows のセットアップが完了しました。

ユーザー登録を忘れずに

本パソコンが使用できる状態になったら、添付のユーザー登録カードに必要事項を記入し、投函してください。
ユーザー登録カードは、弊社やソフトウェア会社が自社製品のユーザーを把握し、さまざまな情報を提供する際に利用するものです。
ソフトウェアのバージョンアップ（ソフトウェアの機能を強化し、版数を上げること）時や電話相談などには、ユーザー登録をしていることが条件ですので、忘れずに投函してください。

Windows 起動ディスクを作成してください

「Windows 起動ディスク」とは、Windows が正しく起動できなくなった場合に、コンピュータを起動するために使うディスクです。
不測の事態に備えて、なるべく早く「Windows 起動ディスク」を作成してください。
「Windows 起動ディスク」の作成には、2HD のフロッピーディスクが 1 枚必要になります。あらかじめ用意してから、「コントロールパネル」ウィンドウの「アプリケーションの追加と削除」アイコンで「起動ディスク」タブの「ディスクの作成」をクリックし、表示されるメッセージに従って作成してください。

リカバリ CD-ROM 起動ディスクの準備（CD-ROM ドライブなしモデルをお使いの場合）

CD-ROM ドライブなしモデルをお使いの場合、リカバリ（P.30）には「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」が必要になります。あらかじめ作成しておいてください。
「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」の作成とリカバリには「リカバリ CD-ROM ／ドライバーズ CD」が必要です。CD-ROM のデータが読み込める環境をご用意ください。
次のものを用意してください。

- リカバリ CD-ROM ／ドライバーズ CD
- 1.44MB フォーマット済 2HD フロッピーディスク 1 枚（購入してください）

POINT

- CD-ROM から起動できないパソコンを使用している場合は、CD-ROM からの起動可能なパソコンで起動ディスクを作成してください。

作成方法

1 「リカバリ CD-ROM ／ドライバーズ CD」をセットします。

2 本パソコンを再起動します。

3 「FUJITSU」ロゴの下に文字が表示されたら、すぐに【F12】キーを押し続けます。
「起動メニュー」が表示されます。

4 「3. ATAPI CD-ROM ドライブ」を選択し、【Enter】キーを押します。

5 「FMV リカバリ CD-ROM」画面が表示されたら、【N】キーを押します。
コマンドプロンプトが表示されます。

6 次のように入力し、【Enter】キーを押します。

```
z:¥fjuty¥mkfd.bat
```

「リカバリ起動ディスクを作成します」と表示されます。

7 作成するフロッピーディスクが書き込み可能な状態であることを確認し、フロッピーディスクドライブにセットして、【Enter】キーを押します。

「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」の作成が始まります。
しばらくすると「リカバリ起動ディスクの作成が終了しました」と表示されます。

8 作成した起動ディスクに、「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」と記入したラベルを貼ります。

ラベルには「作業用」と記入し、お使いのパソコンの機種名を記入しておくことをお勧めします。

リカバリ CD-ROM 起動ディスクの設定（リカバリ CD-ROM から起動できない場合）

1 「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」に CD-ROM ドライバのファイルをコピーします。

コピーするファイルについては、お使いになる CD-ROM ドライブに添付されているマニュアルなどをご覧ください。

2 Config.sys を修正します。

「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」の「A:¥Config.sys」の該当箇所（XXXXXXXX）を使用するドライバ名に変更してください。

```
DEVICE=XXXXXXXX.SYS  /D:OEMCD001
```

作成した「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」を書き込み禁止の状態にしてお使いください。

2 プレインストール仕様

Windows セットアップが終了した時点での本パソコンの環境は、次のとおりです。

POINT

- 各ドライバおよびソフトウェアの使用方法についてはヘルプまたはReadme.txtなどの説明ファイルをご覧ください。

ソフトウェア一覧

プレインストールソフト

名称	備考
Microsoft Windows 95 4.00.950B	操作方法など詳細については、「スタート」メニューに登録されているオンラインヘルプか、添付されている『Microsoft® Windows® 95 ファーストステップガイド』をご覧ください。なお、OS 追加プログラムについては「OS 追加プログラム」（P.16）をご覧ください。
Internet Explorer 4.01 SP2	WWW ブラウザです。
Windows 95 ツール	Windows95 に添付されているツール類が C:¥Tools に格納されています。使用方法については、フォルダ内の説明ファイルなどをご覧ください。
DirectX7.0a	マルチメディアの機能を拡張します。DirectX7.0a に対応したソフトウェアの高速表示・高品位音声再生を実現します。
MS-IME95	日本語入力変換ユーティリティです。
Windows 環境調査ツール（WinDiag）	本パソコンの使用環境を調査します。
Acrobat Reader	PDF（Portable Document Format）書類を表示、閲覧、印刷できます。
3 モードフロッピーディスクドライバ	1.44MB、1.2MB、720KB の DOS/V フォーマット済みのフロッピーディスクを読み書きできる 3 モード対応のフロッピーディスクドライブ用のドライバです。

名称	備考
フロッピーディスクドライブ クリーニングユーティリティ プログラム	クリーニングフロッピー（別売）を使い、フロッピーディスクドライブのヘッド（データを読み書きする部分）を清掃します。使用方法については『ハードウェアガイド』をご覧ください。
FM 一発修正	文字やアイコン表示の異常を修正します。
ソフトウェアライブラリ アップデートプログラム	ソフトウェアが使用している MFC（Micorsoft Foundation Class）ライブラリのアップデートプログラムです。ソフトウェアを追加インストールした場合は、アップデートプログラムを実行する必要があります（••▶ P.38）。

プレインストールソフトは、必要に応じてアンインストールしてください（••▶ P.19）。

OS 追加プログラム

ご購入時の状態では、次の Windows95 用の修正プログラムがインストールされています。

名称	概要
USB サポート	Windows95 で USB デバイスをサポートするためのプログラムです。
IFS マネージャ修正プログラム	ネットワーク上の全角文字フォルダへアクセスする際の障害修正プログラムです。
プリンタドライバ修正プログラム	HPLaserJet4、Canon BJC を使用する場合に必要なプリンタドライバ修正プログラムです。
DMA 修正プログラム	Ultra DMA/33 をサポートするためのプログラムです。
西暦 2000 年問題修正プログラム	Windows95、Outlook Express 用の西暦 2000 年問題修正プログラムです。
49.7 日問題修正プログラム	49.7 日間 Windows95 を実行し続けたときに Windows95 が停止する障害を修正するプログラムです。
URL Security アップデート プログラム	悪質な WEB サイトや E-mail を利用してシステムを傷つけクラッシュさせたり、不明なプログラムが実行されたりすることを防ぐプログラムです。

添付ソフト（未インストール）

POINT

- 一部のソフトウェアの使用方法についてはヘルプまたはReadme.txtなどの説明ファイルをご覧ください。

名称	備考
Internet Explorer 3.02	WWW ブラウザです。
VirusScan	コンピュータウイルスを検出・駆除します (P.24)。
Power MANagement for Windows	同一セグメント上の「Power MANagement コンソール」から、LAN 経由で他のパソコンの電源を制御できます。 詳細は、Readme.txtおよびPmanl.hlpをご覧ください。 なお、インストールするためには、あらかじめ TCP/IP プロトコルがインストールされている必要があります。また、「ネットワーク」ダイアログボックスから「NetBEUI のプロパティ」を表示し、「詳細設定」タブで「標準のプロトコルに設定」をチェックしてください。 さらに、本ソフトウェアを使用する場合は、BIOS セットアップで次の項目を設定してください。 ・「省電力」－「自動ウェイクアップ」－「LAN によるウェイクアップ」：使用する
MS-IME97A	日本語入力変換ユーティリティです。 なお、MS-IME97A をインストールすると、MS-IME95 は削除され使用できなくなります。
はじめよう！インターネット（@nifty）	インターネットのプロバイダである@niftyに入会できます。
NIFTY MANAGER	パソコン通信用ソフトです。

デバイス一覧

デバイス	名称	備考
CD-ROM	〔SL6〕 MATSHITA CD-ROM CR-594 または SAMSUNG CD-ROM SC-140P 〔CL6〕 TEAC CD-224E	
SCSI コントローラ	PCI NCR C810 SCSI Host Adapter	SCSI カード（カスタムメイドオプション）
キーボード	106 日本語（A01）キーボード（Ctrl + 英数）	
サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ	Crystal Audio Codec	
ディスクドライブ	GENERIC IDE DISK TYPE01 GENERIC NEC FLOPPY DISK	
ディスプレイアダプタ	Intel(r) 82810E Graphics Controller	
ネットワークアダプタ	Intel 8255x-based PCI Ethernet Adapter (10/100)	プロトコル： IPX/SPX 互換プロトコル、NetBEUI クライアント： Microsoft ネットワーククライアント、 NetWare ネットワーククライアント
ハードディスクコントローラ	Intel(r) 82801AA Ultra ATA Controller セカンダリ IDE コントローラ（デュアル FIFO） プライマリ IDE コントローラ（デュアル FIFO）	
フロッピーディスクコントローラ	Fujitsu 3-mode Floppy（FMV Series） スタンダードフロッピーディスクコントローラ	1.44MB/1.2MB/720KB の各容量のフロッピーディスクを読み書きできます。
ポート（COM&LPT）	プリンタポート（LPT1） 通信ポート（COM1）	
マウス	スタンダード PS/2 ポートマウス	
モニター	Super VGA 800 × 600	解像度／色数： 800 × 600 / High Color（16 ビット） リフレッシュレート：最適
ユニバーサルシリアルバスコントローラ	Intel(r) 82801AA USB Universal Host Controller USB	

ドライブ構成

ドライブ	容量	備考
C	約 2GB	FAT16
D	〔総容量〕－〔C ドライブの容量〕	FAT32
E	CD-ROM ドライブ	CD-ROM 搭載時

POINT

- WindowsNTなどのFAT32をサポートしていないOSからは、Dドライブに割り当てられたディスク領域を認識できません。WindowsNT などの OS でこのディスク領域を使用する場合には、D ドライブのバックアップを行ったあと、FAT32 から FAT16 へ設定を変更してください（P.34）。
  また、Windows95 では、NTFS に設定されているディスク領域を認識することができません。この場合、FDISK コマンドで FAT16 または FAT32 に設定を変更してください。
- フォーマットの形式を変更した場合、変更したドライブの中身はすべて消えてしまいます。必要に応じてバックアップを行ってから、実行してください。
- 〔SL6〕に搭載される CD-ROM ドライブ（「MATSHITA CD-ROM CR-594 」または「SAMSUNG CD-ROM SC-140P」）、〔CL6〕に搭載される CD-ROM ドライブ（「TEAC CD-224E 」）については、「システムのプロパティ」ダイアログボックスの「デバイスマネージャ」タブで CD-ROM の DMA を設定して使用できます。
- 〔SL6〕のカスタムメイドオプションで光磁気ディスクドライブ（ATAPI）を選択している場合、「システムのプロパティ」ダイアログボックスの「デバイスマネージャ」タブで「FUJITSU MCE3130AP」「FUJITSU M25-MCE3064AP」の DMA を設定しないでください。正常な動作が保証されなくなる場合があります。

アプリケーションのアンインストール

留意事項

アプリケーションをアンインストールする場合は、次の点に気を付けてください。

- アプリケーションをすべて終了してからアンインストールを始める
- DLL ファイルは削除しない
  アンインストール時に次のようなメッセージが表示されることがあります。
  「この DLL は複数のアプリケーションで使用されている可能性があります。削除を行いますか」
  この DLL ファイルを削除すると、他のアプリケーションが正常に動作しなくなることがあります。アプリケーションのマニュアル、ヘルプ、または Readme.txt などの説明ファイルで、特に指示がない場合は DLL ファイルは削除しないことをお勧めします。

アンインストール方法

一般的に、次の方法があります。

- アンインストール機能を使用する
  アプリケーションにアンインストール機能が用意されている場合があります。

- 「アプリケーションの追加と削除」機能を使用する
  「コントロールパネル」ウィンドウの「アプリケーションの追加と削除」機能を使用してアプリケーションを削除できます。
- ファイルを削除する
  アンインストール機能が用意されていない次の表のアプリケーションについては、ファイルまたはフォルダを削除してください。

名称	削除するファイル名・フォルダ名
Windows 95 ツール	C:¥Tools

Windows 95 ツールは一度削除すると、リカバリを行わないと復旧できません。

アンインストール方法はアプリケーションによって異なります。詳細は各アプリケーションのマニュアル、ヘルプ、または Readme.txt などの説明ファイルをご覧ください。

なお、Internet Explorer 4.01 SP2 については、次の手順に従ってアンインストールしてください。

Internet Explorer 4.01 SP2 のアンインストール

■ 留意事項

Internet Explorer 4.01 SP2 をアンインストールする場合は、次の点にご注意ください。

- アクティブデスクトップを有効にしている場合は、アンインストール前に解除してください（「スタート」ボタン→「設定」→「アクティブデスクトップ」→「Web ページで表示」の順にクリックして、チェックを外してください）。
- Internet Explorer 4.01 SP2 をアンインストールすると、「西暦 2000 年問題修正プログラム」（P.16）は無効になります。
- ダイヤルアップネットワークの設定を行っている場合は、次の手順に従って削除してください。
  1. 「コントロールパネル」ウィンドウの「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。
     「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
  2. 「Windows ファイル」タブの「ファイルの種類」から「通信」をクリックし、「詳細」をクリックします。
  3. 「ダイヤルアップネットワーク」のチェックを外し、「OK」をクリックします。

     POINT

     ▶ 「セットアップ」ダイアログボックスが表示された場合は、「はい」をクリックします。

  4. 「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ダイアログボックスで「OK」をクリックします。
     メッセージに従って操作します。
     「バージョンの競合」ダイアログボックスが表示されたら、「はい」をクリックしてください。
  5. 本パソコンを再起動します。

■ Internet Explorer 4.01 SP2 のアンインストール方法

Internet Explorer 4.01 SP2 のアンインストール方法は、次のとおりです。

1 「コントロールパネル」ウィンドウの「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

2 一覧から「Microsoft Internet Explorer 4.01 SP2」をクリックし、「追加と削除」をクリックします。

3 「前回の Windows の設定を復元する」をクリックし、「OK」をクリックします。

「Internet Explorer 4.0 と共有コンポーネントを削除するには、「OK」をクリックしてください。」と表示されます。

4 「OK」をクリックします。

メッセージに従って操作します。

Memo

第 2 章

快適にお使いいただくために

コンピュータウイルスや、画面の設定方法などについて説明しています。

1　コンピュータウイルス対策 24
2　MS-DOS モードで CD-ROM を利用する 27
3　画面を設定する 28

1　コンピュータウイルス対策

コンピュータウイルスはプログラムの１つで、何らかの方法でコンピュータ内に読み込まれる（感染する）と、コンピュータウイルス自身で増殖したり、大切なデータを壊したり、コンピュータを起動できなくしたりと、悪影響を及ぼします。

VirusScan

本パソコンにはウイルスを発見するためのソフトとして、VirusScan を添付しています。入手したフロッピーディスクや光磁気ディスクなどは、ウイルスチェックを行ったうえで使用してください。VirusScan の使用方法については、ヘルプをご覧ください。
VirusScan は、ご購入時にはインストールされていません。必要に応じてインストールしてください。

留意事項

- 「McAfee VShield」を起動していると、アプリケーションのインストールが正常に行われなかったり、ご使用のアプリケーションによっては不具合が発生したりすることがあります。この場合は次のいずれかの方法で「McAfee VShield」を終了してください。
  - 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Network Associates」→「VirusScan コンソール」の順にクリックします。「VirusScan コンソール」ウィンドウで「タスク」メニュー→「使用不可」の順にクリックします。
  - タスクバーの「McAfee VShield」アイコンを右クリックし、「終了」をクリックします。
- VirusScan でコンピュータウイルス検査を行っているときは、他のアプリケーションを実行したり、検査中のフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブから取り出したりしないでください。他のアプリケーションを実行するなど、別の操作を行うと、エラーメッセージが表示される場合があります。
- 本パソコンをフロッピーディスクから起動する場合、そのフロッピーディスクがコンピュータウイルスに感染していないかをチェックしてからお使いください。
- VirusScan は、コンピュータウイルスの情報を記載したデータファイル（DAT ファイル）と、検査プログラム（スキャンエンジン）を使用しています。DAT ファイルは次のサイトから無料でダウンロードできます。定期的に更新してください。
  http://www.nai.com/japan/
  スキャンエンジンを更新する場合は、最新版の VirusScan をご購入ください。

コンピュータウイルスを発見した場合

コンピュータウイルスを発見した場合は、被害届けを提出してください。

重 要

- コンピュータウイルスに感染してしまい、本パソコンの修理が必要になった場合、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。ご了承ください。

コンピュータウイルスの被害届け

コンピュータウイルスの届け出制度は、通商産業省の「コンピュータウイルス対策基準」（平成 2 年 4 月 10 日付通商産業省告示第 139 号／平成 9 年 9 月 24 日改訂通商産業省告示第 535 号）の規定に基づき、平成 2 年 4 月にスタートした制度です。コンピュータウイルスを発見した場合、コンピュータウイルス被害の拡大と再発を防ぐために必要な情報を、情報処理振興事業協会（IPA）に届け出ることとされています。届け出の書式は次ページのとおりです。

〒113-6591
東京都文京区本駒込2-28-8
情報処理振興事業協会
セキュリティセンター
ウイルス対策室　宛
TEL　03-5978-7509
FAX　03-5978-7518
E-mail　virus@ipa.go.jp

（届出書）
住所
会社・団体名
部署
氏名
TEL
FAX
E-mail

コンピュータウイルスの被害（感染・発病）について、下記のとおり届け出ます。

記

1. 発見場所（部署名または個人名）
2. ウイルス名称（内容）　（名称がわからない場合は症状を記載）
3. 発見年月日
年　月　日
4. 感染機種
機種　：富士通FMVシリーズ（IBM互換機）
OS：　☐ Windows95　☐ Windows98　☐ Windows Me　☐ WindowsNT　☐ Windows2000
ネットワーク
（チェックマークをつけてください。LAN接続以外は、スタンドアロンです）
：☐スタンドアロン（単体）　☐LAN接続
5. 発見方法
ワクチンなどによる定期検査を行っている　⇒頻度（毎日・毎週　回／　毎）
発見方法（　）
発見に利用したソフトウェア
（☐ VirusScan Ver.4.5 SR-1（日本ネットワークアソシエイツ株式会社））
（☐上記以外　⇒名称：　社名：　）
6. 推定される感染経路
感染元
☐他人から譲渡（国内）　☐電子メール（国内）
☐他人から譲渡（国外）　☐電子メール（国外）
☐雑誌などの付録　☐不明
☐パソコン通信（BBS）　☐その他（　）
☐インターネット（ftp site, web site, NetNews）
媒体
☐フロッピーディスク　☐電子メール添付ファイル
☐CD-ROM　☐その他（　）
☐ダウンロードファイル
7. 被害状況
PC　台
HD　台
FD　枚
その他
8. 回復処置
回復方法（　）
回復に利用したソフトウェア
（☐VirusScan Ver.4.5 SR-1（日本ネットワークアソシエイツ株式会社））
（☐上記以外　⇒名称：　社名：　）
投入人日
（　人・　日（0.5日単位で記述））

※ この届出はコンピュータウイルス対策基準（平成9年9月24日付通商産業省告示第535号）の規定に基づいています。届け出られた内容は被害の拡大及び再発の防止に活用しますが、記載されているプライバシーに関する情報を公表することはありません。

2 MS-DOS モードで CD-ROM を利用する

MS-DOS モードで CD-ROM ドライブを使用するための設定を説明します。

MS-DOS モードで CD-ROM をご使用になる場合

ご購入時はドライバがインストールされていないため、MS-DOS モードで CD-ROM を使用できません。次の手順でドライバをインストールしてください。

POINT

- 設定を行う際には、下記以外の作業を行わないでください。下記以外の作業を行うと、Windows95 が正常に起動されなくなることがあります。

1 エディタ（メモ帳）などで C:¥Config.sys を開き、次の行の「REM 」を削除します。

```
REM DEVICE=C:¥REALMODE¥XXXXX.SYS  /D:OEMCD001
        ↓
DEVICE=C:¥REALMODE¥XXXXX.SYS  /D:OEMCD001
```

2 次の行がない場合は、最後の行に追加して保存します。

```
lastdrive=z
```

3 エディタ（メモ帳）などで C:¥Windows¥Dosstart.bat を開き、次の行の「REM 」を削除して保存します。

```
REM MSCDEX.EXE  /D:OEMCD001  /L:E
        ↓
MSCDEX.EXE  /D:OEMCD001  /L:E
```

（「/L:E」の「E」には CD-ROM ドライブ名が入ります。）

4 本パソコンを再起動します。

POINT

- 別途CD-ROMドライブを購入された場合は、必要に応じて上記の2つのファイルの該当部分（CD-ROM ドライバ名）をご購入の CD-ROM ドライバに変更してください。CD-ROM ドライブなしモデルをお使いの場合は、作成した「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」に関しても同様に変更が必要になる場合があります。「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」に CD-ROM ドライバをコピーし、Config.sys の CD-ROM ドライバ名と Autoexec.bat のドライブ名を変更してください。

3 画面を設定する

ここでは、ディスプレイの解像度と色数について説明します。

解像度と色数

本パソコンでは、Windows の「画面のプロパティ」ダイアログボックスの「ディスプレイの詳細」タブで次の解像度、色数を選択／変更できます。
なお、High Color は 65536 色、True Color は 16777216 色です。

- **解像度** … 640 × 480 / 800 × 600 / 1024 × 768 / 1280 × 1024 ※1
- **色数** … 16 色※2/ 256 色 / High Color（16 ビット）/ True Color（24 ビット）

※1：True Color（24 ビット）は使用できません。
※2：640 × 480 のみ選択可

POINT

- 設定できる色数は、画面の解像度によって異なります。解像度を高くすると、設定できる色数は少なくなります。
- 解像度／色数を変更する場合は、必ず他のアプリケーションや常駐しているソフトウェアをすべて終了させてから行ってください。
- 色数やリフレッシュレートを変更すると、画面がディスプレイ中央に表示されない場合があります。この場合は、ディスプレイの仕様を確認して適切なリフレッシュレートを設定するか、ディスプレイの設定機能を使用して調整してください。
- ディスプレイによって、設定できる解像度が異なります。詳細はディスプレイの取扱説明書をご覧ください。
- 「画面のプロパティ」の「ディスプレイの詳細」タブの「フォントサイズ」でフォントサイズを変更すると、正常に表示されない場合があります。

第 3 章

リカバリとインストール

本パソコンをご購入時の状態に戻す「リカバリ」とソフトウェアの「インストール」について説明します。

1　リカバリ 30
2　ソフトウェアライブラリのアップデート 38
3　ソフトウェアのインストール 39

1 リカバリ

Windows が起動しないなどの問題が発生した場合、またはハードディスクの領域を変更したい場合は、リカバリを行います。

リカバリの概要

リカバリとは、「リカバリ CD-ROM ／ドライバーズ CD」と「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」（CD-ROM ドライブなしモデルをお使いの場合）を使用して、OS、ドライバなどのプレインストールソフトウェアをご購入時の状態「プレインストール仕様」（••▶ P.15）に戻す操作です。

留意事項

- 区画の再設定を行うことにより、ハードディスクの内容が消えてしまうことがあります。あらかじめ必要なデータはバックアップしておいてください。
- リカバリを行うと、C ドライブのファイルはすべて削除されます。必要に応じて事前にバックアップを行ってください。
- オプションを取り付けているときは、それらをいったん取り外し、ご購入時の状態に戻してください。
- 内蔵 CD-ROM ドライブ以外をお使いの場合は、あらかじめ SCSI 規格の外付け CD-ROM（オプション）などをご用意ください。

リカバリの手順

リカバリは次の手順で行います。

1 「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」の準備（CD-ROM ドライブなしモデルをお使いの場合）（••▶ P.13）

2 ハードディスクの領域設定（必要に応じて）（••▶ P.33）

3 リカバリ（••▶ P.31）

リカバリ終了後

リカバリ後、必要に応じてソフトウェアをアンインストールしてください（••▶ P.19）。
また、必要に応じて添付アプリケーションや使用するソフトウェアをすべてインストールしたあと、ソフトウェアライブラリをアップデートしてください（••▶ P.38）。

リカバリ方法

本パソコンをご購入時の状態に戻す「リカバリ」の手順を説明します。
次のものを用意してください。

- 「リカバリ CD-ROM ／ドライバーズ CD」
- 準備した「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」(CD-ROM ドライブなしモデルをお使いの場合)
  (••▶ P.13)

POINT

- リカバリを行うと、C ドライブのファイルはすべて削除されます。ご注意ください。
- リカバリの所要時間は、10 分程度です。

1 BIOS の設定をご購入時の設定に戻します。

ご購入時の設定に戻すには、BIOS セットアップ（••▶『ハードウェアガイド』参照）の設定を初期値に戻してください。
BIOS セットアップの設定をご購入時と異なる設定に変更していると、インストール時にエラーメッセージが表示されることがあります。

2 次の操作を行います。

- 標準搭載の CD-ROM をお使いの場合
  「リカバリ CD-ROM ／ドライバーズ CD」をセットします。
- CD-ROM ドライブなしモデルをお使いの場合
  「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」をセットします。

3 本パソコンを再起動します。

4 次の操作を行います。

- 標準搭載の CD-ROM をお使いの場合
  「FUJITSU」ロゴの下に文字が表示されたら、すぐに【F12】キーを押し続けます。
  「起動メニュー」が表示されます。
- CD-ROM ドライブなしモデルをお使いの場合
  「CD-ROM ドライブに「リカバリ CD-ROM」をセットしてください。」と表示されたら、「リカバリ CD-ROM ／ドライバーズ CD」をセットし、何かキーを押します。
  「FMV リカバリ CD-ROM」画面が表示されます。
  手順 6 へ進みます。

5 「3. ATAPI CD-ROM ドライブ」を選択し、【Enter】キーを押します。

「FMV リカバリ CD-ROM」画面が表示されます。

6 【Page　UP】【Page　Down】キーで説明をスクロールし内容を確認して、【Y】キーを押します。

7 「ご購入時の状態に戻す（推奨）」が反転表示されていることを確認して【Enter】キーを押します。

確認の画面が表示されます。

POINT

- 区画を変更してリカバリしたい場合は、「領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す」を選択してください。画面を見ながら区画を任意に設定し、リカバリできます。
  設定方法は「ハードディスクの領域を設定する」（P.33）をご覧ください。

8 【Y】キーを押します。

しばらくすると「NORTON Ghost™」の画面が表示され、ファイルのコピーが始まります。リカバリが終了すると「正常にソフトウェアの復元作業が行われました。」と表示されます。

9 次の操作を行います。

- 標準搭載の CD-ROM をお使いの場合
  CD-ROM を取り出してから、【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押して本パソコンを再起動します。
- CD-ROM ドライブなしモデルをお使いの場合
  CD-ROM とフロッピーディスクを取り出してから、【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押して本パソコンを再起動します。

10 以降、第 1 章を参照して操作してください（P.10）。

ハードディスクの領域を設定する

次に該当する場合、ハードディスクの領域を設定する必要があります。

- 現在のハードディスク領域を変更したいとき

ハードディスクの領域を設定するには、次の二つの方法があります。

- リカバリ中に設定する（••▶ P.34）
  画面で確認しながら、1 つのハードディスクを 1 個または 2 個の領域に設定できます。指定できる容量は 100MB 単位になります。
- FDISK を使う（••▶ P.36）
  1 つのハードディスクに 3 つ以上の領域を設定できます。容量を 1MB 単位で指定でます。

ハードディスク領域の概要

まず、ハードディスク領域の概要を説明します。

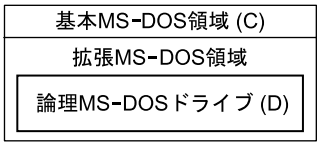
■ 基本 MS-DOS 領域と拡張 MS-DOS 領域

ハードディスク領域には、次の 2 種類があります。

- **基本 MS-DOS 領域**
  OS をインストールするために必要な領域です。プライマリマスターに接続されたハードディスク（1 台目のハードディスク）の基本 MS-DOS 領域は、起動ドライブ（C ドライブ）になります。
- **拡張 MS-DOS 領域**
  アプリケーションやデータを格納するための領域です。基本 MS-DOS 領域を設定している場合は、残りの領域すべてが拡張 MS-DOS 領域になります。
  拡張 MS-DOS 領域内には、論理 MS-DOS ドライブを作成する必要があります。論理 MS-DOS ドライブを作成することで、拡張 MS-DOS 領域にドライブ名（D、E、F …）が割りふられます。論理 MS-DOS ドライブは複数（最高 23 個）作成できます。

POINT

- 本パソコンご購入時にはプライマリマスターのハードディスクに、基本 MS-DOS 領域と拡張 MS-DOS 領域が設定され、拡張 MS-DOS 領域全体が 1 つの論理 MS-DOS ドライブに設定されています。



■ FAT16 と FAT32

ハードディスクの領域を設定する場合に、ファイルの管理形式として FAT16 または FAT32 のどちらかを選択できます。
FAT16 は最大 2GB までしかドライブを管理できません。そのため、2GB を超える領域を作成したい場合は FAT32 を使用します。しかし、FAT32 をサポートしていない OS（MS-DOS や WindowsNT 4.0 など）から FAT32 でフォーマットしたハードディスクを認識できません。このため、MS-DOS で作成された起動フロッピーからインストールを行うアプリケーションの場合、インストールに失敗するなどの問題が発生することがあります。

POINT

- リカバリは、FAT16、FAT32 のいずれのファイルシステムに対しても実行できます。

ハードディスクの領域を設定するうえでの留意事項

ハードディスクの領域を設定する前にお読みください。

- 領域を削除したり容量を変更したりすると、領域内のファイルはすべて削除されます。必要に応じて事前にバックアップをとってください。
- 基本 MS-DOS 領域は、リカバリに必要な領域（最低 1GB）に設定してください。

ハードディスクの領域を設定する（リカバリ中に設定する）

リカバリ中にハードディスクの領域を設定することができます。

重 要

- 区画の再設定を行うことにより、ハードディスクの内容が消えてしまうことがあります。あらかじめ必要なデータはバックアップしておいてください。
- リカバリ中に区画を作成する場合、100MB 単位で 2 区画までしか作成できません。3 区画以上を作成する場合、または 1MB 単位で区画を作成する場合は、FDISK を使用してください。

1 「リカバリ CD-ROM ／ドライバーズ CD」を起動し、リカバリメニューを表示します。

表示方法については、「リカバリ方法」（P.31）の手順 1 ～ 6 をご覧ください。

2 「領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す」を選択し、【Enter】キーを押します。

領域の設定方法により、ここからの操作は異なります。

3 領域の設定方法により、次の操作のどちらかを行ってください。

重 要

- 領域を変更すると、ハードディスク内のすべてのデータが失われます。

- 任意の領域を設定する　→ 手順 4 へ
- ご購入時の領域の状態に戻す　→ 手順 5 へ

4 「領域を任意に設定して戻す」を選択し、【Enter】キーを押します。

【←】【→】キーを押すと、100MB 単位で、領域を設定することができます。
その他の設定については、次を参考にしてください。

- C ドライブを FAT16 で使用する
  C ドライブを FAT16 または FAT32 に切り替えることができます。
  切り替えるには【F】キーを押し、項目のチェックマークを確認します。
- ハードディスクを 1 つの区画として設定する
  ハードディスク全体を C ドライブとして設定するかどうか切り替えることができます。
  切り替えるには【P】キーを押し、項目のチェックマークを確認します。

領域を設定したら、【Enter】キーを押し、手順 6 へ進みます。

5 「領域をご購入時の状態にして戻す」を選択し、【Enter】キーを押します。

6 【Y】キーを押します。

領域の設定が行われ、再起動メッセージが表示されます。

7 【Enter】キーを押します。

本パソコンが再起動します。

8 次の操作を行います。

- 標準搭載の CD-ROM をお使いの場合
  1 「FUJITSU」ロゴの下に文字が表示されたら、すぐに【F12】キーを押し続けます。
  「起動メニュー」が表示されます。
  2 「3. ATAPI CD-ROM ドライブ」を選択し、【Enter】キーを押します。
- CD-ROM ドライブなしモデルをお使いの場合
  「CD-ROM ドライブに「リカバリ CD-ROM」をセットしてください。」と表示されたら、「リカバリ CD-ROM ／ドライバーズ CD」をセットされていることを確認し、何かキーを押します。

しばらくすると「NORTON Ghost™」の画面が表示され、ファイルのコピーが始まります。
リカバリが終了すると「正常にソフトウェアの復元作業が行われました。」と表示されます。

9 次の操作を行います。

- 標準搭載の CD-ROM をお使いの場合
  CD-ROM を取り出してから、【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押して本パソコンを再起動します。
- CD-ROM ドライブなしモデルをお使いの場合
  CD-ROM とフロッピーディスクを取り出してから、【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押して本パソコンを再起動します。

10 以降、第 1 章を参照して操作してください（→ P.10）。

ハードディスクの領域を設定する（FDISK を使う）

領域を 3 区画以上作成する場合、または 1MB 単位で区画を作成する場合は、FDISK コマンドを使用します。
手順の流れを確認後、FDISK を起動してください。

■ 手順の流れ

1 FDISK で必要に応じて領域を削除する

削除は次の順番で行います。

1 拡張 MS-DOS 領域内の論理 MS-DOS ドライブの削除
2 拡張 MS-DOS 領域の削除
3 基本 MS-DOS 領域の削除

2 FDISK で領域を作成する

削除と逆の順番で行います。

3 ドライブをフォーマットする

リカバリを行うドライブは、リカバリ中にフォーマットされますので、フォーマットの必要はありません。

■ FDISK の起動方法と概要

FDISK は、次の手順で起動してください。なお、Windows がインストールされている環境で増設ハードディスクの領域を設定する場合は、Windows の MS-DOS プロンプトで「fdisk」と入力し、【Enter】キーを押してください。

1 次の操作を行います。

- 標準搭載の CD-ROM をお使いの場合
  「リカバリ CD-ROM ／ドライバーズ CD」をセットします。
- CD-ROM ドライブなしモデルをお使いの場合
  「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」をセットします。

2 本パソコンを再起動します。

3 次の操作を行います。

- 標準搭載の CD-ROM をお使いの場合
  「FUJITSU」ロゴの下に文字が表示されたら、すぐに【F12】キーを押し続けます。
  「起動メニュー」が表示されます。
- CD-ROM ドライブなしモデルをお使いの場合
  「CD-ROM ドライブに「リカバリ CD-ROM」をセットしてください。」と表示されたら、「リカバリ CD-ROM ／ドライバーズ CD」をセットし、何かキーを押します。
  「FMV リカバリ CD-ROM」画面が表示されます。
  手順 5 へ進みます。

4 「3. ATAPI CD-ROM ドライブ」を選択し、【Enter】キーを押します。

5 「FMV リカバリ CD-ROM」画面が表示されたら、【N】キーを押します。

コマンドプロンプトが表示されます。

6 次のように入力して、【Enter】キーを押します。

```
fdisk
```

「FDISK オプション」画面が表示されます。

7 次の説明と画面のメッセージを参照し、領域を設定します。

- MS-DOS 領域または論理 MS-DOS ドライブを作成
  基本 MS-DOS 領域、拡張 MS-DOS 領域、拡張 MS-DOS 領域内に論理 MS-DOS ドライブを作成する場合に選択します。
- アクティブな領域を設定
  基本 MS-DOS 領域をアクティブ（領域に OS をインストールしたら起動できる状態）にする場合に選択します。なお、基本 MS-DOS 領域に使用できる最大サイズを割り当てた場合は、自動的にアクティブに設定されます。アクティブな領域は、「状態」に「A」と表示されます。

重 要

- 基本 MS-DOS 領域（領域 C）をアクティブに設定しないと、ハードディスクから起動できません。基本 MS-DOS 領域は、必ずアクティブに設定してください。

- 領域または論理 MS-DOS ドライブを削除
  すでに設定されている基本 MS-DOS 領域、拡張 MS-DOS 領域、拡張 MS-DOS 領域内の論理 MS-DOS ドライブを削除する場合に選択します。
- 領域情報を表示
  現在の設定を確認する場合に選択します。
- 現在のハードディスクドライブを変更（ハードディスクを増設している場合に表示されます）
  FDISK を起動すると、プライマリマスターのハードディスクを設定できる状態になります。これを増設したハードディスクに切り換える場合に選択します。

2 ソフトウェアライブラリのアップデート

添付ソフトなど新たにソフトウェアをインストールしたとき、アプリケーションによっては追加された MFC ライブラリをアップデートする必要があります。

アップデート方法

使用するソフトウェアすべてをインストール後にアップデートしてください（1 つのソフトウェアをインストールするごとにアップデートする必要はありません）。該当する MFC ライブラリが検出・アップデートされます。

1. 「リカバリ CD-ROM ／ドライバーズ CD」をセットします。
2. 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
3. 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

   [CD-ROMドライブ]:¥libupd¥speu.exe

4. 本パソコンを再起動します。

3 ソフトウェアのインストール

一部のドライバおよびアプリケーションのインストール方法を説明します。

重 要

- 本書をご覧になり、正しいソフトウェアを使用してください。誤ったソフトウェアをインストールした場合、本パソコンが正しく動作しなくなり、リカバリが必要になることがあります。
  なお、「リカバリ CD-ROM ／ドライバーズ CD」の Indexcd.htm もご覧ください。

ドライバのインストール

ドライバのインストールは、それぞれのドライバのインストール手順をご覧ください。
インストール手順は「リカバリ CD-ROM ／ドライバーズ CD」内の次の場所にあります。

ドライバ	インストール手順の保存場所とファイル名
ディスプレイドライバ	¥810e¥Install.txt
サウンドドライバ	¥Cs4299¥Install.txt
LAN ドライバ	¥Lan¥Readme.txt

この表以外のドライバについては、「リカバリ CD-ROM ／ドライバーズ CD」内の「Indexcd.htm」で該当するドライバのフォルダ名称を確認し、フォルダ内の Readme.txt または Install.txt をご覧ください。

OS 追加プログラムのインストール

OS の一部の動作がおかしいと思われる場合は、以下の OS 追加プログラムをインストールする必要があります。

重 要

- 通常は、OS 追加プログラムをインストールする必要はありません。

Internet Explorer 4.01 SP2 のインストール

1 「リカバリ CD-ROM ／ドライバーズ CD」をセットします。

2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

```
[CD-ROMドライブ]:¥i386¥setup.exe
```

4 「Internet Explorer 4.01 SP2 のインストール」をクリックします。

あとは次のポイントをご覧になり、メッセージに従って操作してください。

POINT

- ご購入時は、次の設定でインストールされています。
  - インストールオプション … 完全インストール
  - デスクトップのアップデート … いいえ

インストールが終了したら、「西暦 2000 年問題修正プログラム」をインストールします。

5 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

6 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROM ドライブ]:¥y2k¥w95y2k.exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

7 再起動後、「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

8 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROM ドライブ]:¥oey2k¥ja-x86-q234680.exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

DirectX7.0a のインストール

1 「リカバリ CD-ROM ／ドライバーズ CD」をセットします。

2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROM ドライブ]:¥dx70a¥dx7ajpn.exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

プレインストールソフトのインストール

ここでは、ご購入時にインストールされているソフトウェアのインストール方法について記述しています。アンインストールしたソフトウェアを再度インストールする場合のみ、次の方法でインストールしてください。

Windows 環境調査ツール（WinDiag）のインストール

1 「リカバリ CD-ROM ／ドライバーズ CD」をセットします。

2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROMドライブ]:¥windiag¥setup.exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

Acrobat Reader のインストール

1 「リカバリ CD-ROM ／ドライバーズ CD」をセットします。

2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROMドライブ]:¥acrobat¥ar405jpn.exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

4 本パソコンを再起動します。

FM 一発修正のインストール

1 「リカバリ CD-ROM ／ドライバーズ CD」をセットします。

2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROMドライブ]:¥fmcure¥setup.exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

添付ソフトのインストール

Internet Explorer 3.02 のインストール

POINT

- Internet Explorer 4.01 をアンインストールしてから、インストールしてください（P.19）。

1 「リカバリ CD-ROM ／ドライバーズ CD」をセットします。

2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROM ドライブ]:¥ie302¥msie302.exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

POINT

- 「バージョンの競合」ダイアログボックスが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

VirusScan のインストール

1 「リカバリ CD-ROM ／ドライバーズ CD」をセットします。

2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROM ドライブ]:¥vscan¥setup.exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

はじめよう！インターネット（@nifty）のインストール

1 「リカバリ CD-ROM ／ドライバーズ CD」をセットします。

2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROM ドライブ]:¥nifty¥setup.exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

NIFTY MANAGER のインストール

1 「リカバリ CD-ROM ／ドライバーズ CD」をセットします。

2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROMドライブ]:niftynim¥setup.exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

Memo

第 4 章

困ったときに

おかしいなと思ったときや、わからないことがあったときの対処方法について説明しています。

1　こんなときには 46
2　それでも解決できないときは 49

1 こんなときには

ここでは、Windows95 の使用時に直面する問題について、Q&A 形式でまとめています。また、トラブルが発生したときや困ったときの参照先を説明しています。

トラブル発生時の参照先

Windows95 に関して

添付の Windows95 のマニュアルか、「スタート」メニューに登録されているオンラインヘルプをご覧ください。

ハードウェアに関して

『ハードウェアガイド』をご覧ください。

トラブルシューティング

Q　プログラム実行中に Windows95 上のすべてのものが動かなくなってしまった

A　1 【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押します。
「プログラムの強制終了」ウィンドウが表示されます。
2 動かなくなったプログラムを選択し、「終了」をクリックします。
プログラムが強制終了します。
もし上記の操作で強制終了できないときは、【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押す操作を 2 回繰り返して、Windows を強制的に再起動してください。

POINT

- プログラムを強制終了したり、本パソコンを再起動したり、強制的に電源を切った場合には、プログラムでの作業内容を保存することはできません。
- プログラムを強制終了したり、本パソコンを強制的に再起動したり、強制的に電源を切った場合は、「スキャンディスク」を実行することをお勧めします。
「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」→「スキャンディスク」の順にクリックしてください。
スキャンディスクを実行した結果、エラーがない場合はそのままお使いください。エラーが表示されたときは、メッセージに従って修復してください。ただし、修復してもトラブルが発生する可能性があります。トラブルが頻繁に発生する場合は、リカバリしてください（P.30）。

Q　マウスが使えないため、Windows95 を終了できない

A　キーボードを使って Windows95 を終了させることができます。

1 【Windows】キーまたは【Ctrl】+【Esc】キーを押します。
「スタート」メニューが表示されます。
2 「Windows の終了」を選択し【Enter】キーを押します。
「Windows の終了」ダイアログボックスが表示されます。
3 「コンピュータの電源を切れる状態にする」を選択し、【Enter】キーを押します。
Windows が終了します。

マウスが故障している場合は、弊社パーソナルエコーセンターまたはご購入元に連絡してください。

Q　ディスプレイドライバ、サウンドドライバ、LAN ドライバが正しく動作しない

A1　Windows の画面が正常に表示されない場合は、Safe モードで起動し、ディスプレイドライバを変更してください。

手順は次のとおりです。

1 本パソコンの電源を入れます。
2 「Starting Windows 95 ...」と表示されたら、【F8】キーを押します。
「Microsoft Windows 95 Startup Menu」が表示されます。
3 「3. Safe mode 」を選択し【Enter】キーを押します。

POINT

- 「キーボードのタイプを判定します。」と表示されたら、【半角／全角】キーを押します。

しばらくすると、「デスクトップ」ダイアログボックスが表示されます。

4 「OK」をクリックします。
5 デスクトップで右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
「画面プロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
6 「ディスプレイの詳細」タブの「詳細プロパティ」をクリックします。
「ディスプレイの詳細プロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
7 「アダプタ」タブの「変更」をクリックします。
「デバイスの選択」ダイアログボックスが表示されます。
8 「すべてのデバイスを表示」をクリックします。
9 「製造元」を「(スタンダードディスプレイ)」に、「モデル」を「スタンダードディスプレイアダプタ（VGA)」に設定し、「OK」をクリックします。
10 すべてのダイアログボックスを閉じ、メッセージに従って本パソコンを再起動します。

このあと、ディスプレイドライバをインストールしてください（P.39）。

POINT

- 再起動後に、「ディスプレイに問題があります。」と表示されたときは、「画面のプロパティ」ダイアログボックスで色数を 16 色に設定して、本パソコンを再起動してください。
- 「OK をクリックするとハードウェアウィザードが始まります。」と表示されたときは、必ず「キャンセル」をクリックしてください。

A2 サウンドまたは LAN の動作に問題がある場合は、各ドライバをインストールし直す必要があります。

お使いの機種に対応する各ドライバは、「デバイス一覧」（••▶ P.18）でご確認ください。
インストール方法については、「ドライバのインストール」（••▶ P.39）をご覧ください。

Q アプリケーションのインストールが正常に行われない

A ウイルス検索ソフトを起動している場合、その影響が考えられます。

ウイルス検索ソフトを終了させ、アプリケーションのインストールができるか試してください。
ウイルス検索ソフトを終了させてもインストールが正常に行われないときは、各アプリケーションのサポート窓口にお問い合わせください。

Q 新しくアプリケーションをインストールしたあと、他のアプリケーションを実行中にアプリケーションエラーが発生するようになった

A アプリケーションのインストール時に追加された MFC ライブラリに問題がある場合があります。ソフトウェアライブラリをアップデートしてください（••▶ P.38）。

Q サウンドレコーダーで録音したサウンドファイルの音質やノイズが気になる

A 次の操作を行ってみてください。

1 サウンドレコーダーを起動します。
2 「編集」メニュー→「オーディオのプロパティ」の順にクリックします。
3 「優先する音質」で「CD の音質」、「ラジオの音質」、「電話の音質」の 3 種類から最適なものをクリックします。
4 「OK」をクリックします。
音質が変更されます。

Q 画面の文字やウィンドウのボタンが正しく表示されない、フォントがインストールできない、ネットワークプロトコルが追加できない

A 「FM 一発修正」を使用してください。

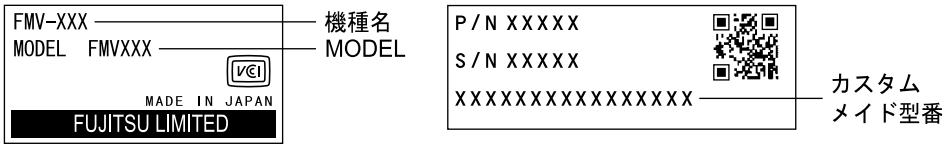
1 すべてのアプリケーションを終了します。
2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
c:¥fjuty¥fmcure¥fmcure.exe

2 それでも解決できないときは

下記の連絡先へお問い合わせください。なお、お問い合わせ前に機種名／ MODEL ／カスタムメイド型番を確認し、「お問い合わせ前の確認シート」（P.51）に環境とトラブル状況などを記入してください。

機種名／ MODEL ／カスタムメイド型番の表記場所

パソコン本体のラベルに記載されています。



連絡先

こんなときには	こちらへ
添付品の不備	ご購入元
故障かなと思われたとき	弊社パーソナルエコーセンター※またはご購入元
FM シリーズの技術的なご質問・ご相談	FM インフォメーションサービス※
本パソコンにインストールされているソフトウェアのお問い合わせ	「お問い合わせ一覧」（P.50）

※：パーソナルエコーセンターと FM インフォメーションサービスの連絡先は、添付の『修理サービス網一覧表』をご覧ください。

情報サービス

また、次の方法で情報サービスを行っております。

富士通パソコン FAX サービス （カタログ、Q&A 情報）	043-299-3642（千葉） 06-6949-3270（大阪）
インターネット （製品の技術情報、Q&A 情報）	富士通パソコンホームページ「FM WORLD」 http://www.fmworld.net/
FM シリーズの音声による Q&A 情報	FM インフォメーションテレホンガイド 0120-89-2235

お問い合わせ一覧

本パソコンに添付されているソフトウェアの内容については、次の連絡先にお問い合わせください。なお、記載の情報は、2000 年 10 月現在のものです。電話番号などが変更されている場合は、FM インフォメーションサービスへお問い合わせください。

- **はじめよう！インターネット（@nifty）**
  - 入会／ @nifty サービス全般
    ニフティ株式会社 @nifty サービスセンター
    9:00 ～ 21:00（指定の休日を除く）
    電話：0120-816-042
    （携帯・PHS・海外の場合：03-5444-2902）
    E-mail：feedback@nifty.com
    URL：http://www.nifty.com/support/madoguchi/index.htm
  - パスワード再発行／各種手続き／解約
    ニフティ株式会社 @nifty カスタマーセンター
    9:00 ～ 21:00（指定の休日を除く）
    電話：0120-842-210
    （携帯・PHS・海外の場合：03-5471-5806）
    E-mail：feedback@nifty.com
- NIFTY MANAGER for Windows Version 5.12
  ニフティマネジャーでの接続や操作方法について
  ニフティ株式会社 ニフティマネジャー
  サポートセンター
  9:00 ～ 21:00（指定の休日を除く）
  電話：0120-326-526
  （携帯・PHS・海外の場合：03-5471-5806）
  E-mail：feedback@nifty.com
- NIFTY MANAGER サポートフォーラム
  （GO NIMSUP/nifty:NIMSUP）
- **パソコン通信サービスの利用に関して**
  ニフティ株式会社 パソコン通信サポートセンター
  9:00 ～ 21:00（指定の休日を除く）
  電話：0120-22-1200
  （携帯・PHS・海外の場合：03-5471-5806）
  E-mail：feedback@nifty.com
  URL：http://www.masternet.or.jp/
- VirusScan Ver.4.5
  日本ネットワークアソシエイツ株式会社
  テクニカルサポートセンター
  9:00 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00（土日、祝祭日を除く）
  電話：03-3379-7770
  URL：http://www.nai.com/japan/
- Adobe Acrobat Reader4.05
  ソフトウェア提供会社様より無償で提供されている製品のため、ユーザーサポートはございません。ご了承ください。
- **その他　FM シリーズの技術的なご質問・ご相談**
  FM インフォメーションサービス
  （添付の『修理サービス網一覧表』をご覧ください）

本ソフトウェア製品の中には第三者のソフトウェア製品が含まれています。お客様の本ソフトウェア製品の使用開始については、お客様が弊社の「ご使用条件」に同意された時点とし、第三者のソフトウェア製品についても同時に使用開始とさせていただきます。
なお、第三者のソフトウェアについては、製品の中に特に記載された契約条件がある場合には、その契約条件にしたがい取り扱われるものとします。

お問い合わせ前の確認シート

お客様の環境

お使いの パソコンの 機種は？	機種名：FMV-	MODEL：FMV
	カスタムメイド型番：	
	購入日：	購入店：

メモリの容量は？	本体標準：　　MB	
	増設：　　MB	［メーカー：　　］ ［型番：　　］

	種類	型番号	メーカー
増設した 周辺機器は？			

	ソフトウェア名	バージョン／レベル	メーカー
お使いの ソフトウェアは？	Windows 95	4.00.950B（OSR2.1）	―

トラブル状況

トラブルの内容は？	
何をしているときに 起こりましたか？	
エラーメッセージは 表示されましたか？ その内容は何ですか？	
以前は問題なく 動作していましたか？	・ 以前は動作した ・ 今回初めて試した ・ 以前から動作しない

Memo

第 5 章

技術情報

留意事項について説明しています。

1　その他の留意事項 54

1　その他の留意事項

本パソコンをお使いになるうえでの留意事項を記載しています。

Windows95 の CD-ROM を要求された場合

ドライバのインストール時などに、「Windows 95 の CD-ROM を挿入してください。」と表示される場合があります。このときは「c:¥windows¥options¥cabs」と指定してください。

本パソコンで使用するソフトウェア

古いバージョン／レベルのソフトウェア（アプリケーション、ドライバ）を使用すると、本パソコンおよびソフトウェアが正常に動作しない場合があります。本パソコンに添付されているソフトウェアは、添付されているバージョンを使用するか、その最新版を入手して使用してください。
また、本パソコンに添付されていないソフトウェアの場合も、最新版を使用してください。

他の OS を使うには

他の OS を使うには、いくつかの設定を行う必要があります。ただし、機種により使用できない OS もあります。
詳しくは、富士通パソコンホームページ FM WORLD（http://www.fmworld.net/）をご覧ください。
なお、インターネットをご利用になれない場合は、ご購入元にご確認ください。

Acrobat Reader について

市販のアプリケーションによっては、インストールの際に、Acrobat Reader を一緒にインストールするものがあります。このとき、本パソコンにプレインストールされている Acrobat Reader 4.05 よりも低いバージョンのものがインストールされてしまうことがあります。
バージョンをご確認のうえ、Acrobat Reader 4.05 をインストールし直してください（→ P.41）。

プロトコルの設定

本パソコンでのネットワークの運用時には、必ず通信プロトコルを確認してください。「コントロールパネル」ウィンドウの「ネットワーク」アイコンをダブルクリックし、「ネットワークの設定」タブで確認および変更します。本パソコンのご購入時の設定では、「IPX/SPX 互換プロトコル」、「NetBEUI」が選択されていますので、接続するネットワークのプロトコルに合わせて変更してください。使用するプロトコルについては、ネットワーク管理者にご確認ください。
プロトコルの変更は、必ず Windows95 セットアップを終了したあとに行ってください。
なお、ネットワークの運用については、TCP/IP プロトコルを使用することをお勧めします。

ネットワーク使用時の留意事項

次の LAN デバイスを複数使用したネットワーク運用は行えません。

- 2 枚の LAN カード
- パソコン本体の内蔵 LAN デバイスと LAN カード

MIDI ファイルの再生

プレインストールされているサウンドドライバは、MIDI 再生機能が使用できません。MIDI ファイルの再生はできませんので、あらかじめご了承ください。

USB

USB インターフェースは、将来ご購入される USB 対応周辺装置すべての動作を保証するものではありません。「USB Supplement」最新版の入手方法については、下記のオンライン情報サービスにてご案内する予定です。

FM WORLD：http://www.fmworld.net/

リソースの競合

「デバイスマネージャ」の「リソース」タブの表示で、Intel(r) 82801AA PCI Bridge と他の PCI デバイスの I/O ポートアドレスやメモリの範囲が競合しているように見えますが動作に影響はありません。

サスペンド機能

「画面のプロパティ」ダイアログボックスの「スクリーンセーバー」タブで「低電力スタンバイ」「電源断」を設定した場合は、サスペンド機能を使用できません。

表示されるメモリサイズ

「システムのプロパティ」上で表示されるメモリサイズは、実際に搭載されているメモリサイズより、1 ～ 2MB 少なく表示されます。

ディスプレイドライバ

- 解像度を変更した場合、一部のアプリケーションでウィンドウが画面からはみ出すことがあります。この場合は、ウィンドウをドラッグして正しい位置に移動するか、解像度を元に戻してください。
- ディスプレイ接続時、画面が中央に表示されない場合は、ディスプレイにあった周波数が設定されているか確認してください。それでも中央に表示されない場合は、ディスプレイの設定機能を使用して調整してください。
- 解像度／色数を変更する場合は、必ず起動中のアプリケーションや常駐しているプログラムを終了させてから行ってください。また、変更後は必ず再起動してください。画面の表示が乱れることがあります。
- グラフィック性能は、環境設定および使用するアプリケーションによって異なります。

- スクリーンセーバー表示中に、カーソル表示が残る場合があります。
  フルスクリーンで動作するアプリケーションを実行するときは、スクリーンセーバーを OFF にしておくことをお勧めします。スクリーンセーバー復帰後ウィンドウ画面になることがあります。
- 動画を再生する場合は、サスペンド機能の設定を行わないでください。
- 本パソコンにインストールされているディスプレイドライバは、DirectX7.0a をサポートしています。
- 仕様の異なるディスプレイ（特に液晶ディスプレイ）に交換すると、画面が表示されないなどの表示異常が発生する場合があります。次の手順で交換してください。
  1 交換前に解像度を 640 × 480 に設定します。
  2 リフレッシュレートを「アダプタの標準」に設定します。
  3 本パソコンの電源を切り、ディスプレイを交換します。
  上記設定を行わずにディスプレイを交換して、画面が表示されない、または表示できない解像度がある場合、次の手順でドライバを再インストールしてください。
  1 Safe モードで Windows95 を起動します（••▶ P.47）。
  2 グラフィックアダプタを「スタンダードディスプレイアダプタ（VGA）」に設定して再起動します。
  3 ディスプレイドライバを再インストールします。
- お使いになるディスプレイや、解像度の設定によっては、CAD 系アプリケーションなどで縦線と横線の太さが異なって見えることがあります。設定を調整して使用してください。
- 「Super VGA」の使用は避けてください。ディスプレイアダプタを「Intel(r) 82810E Graphics Controller」から「Super VGA」に変更した直後、表示上の問題が生じる場合があります。
- 256 色 / True Color（24 ビット）の設定では、Direct3D のハードウェアアクセラレーション（HAL）はサポートしていません。色数を 256 色 / True Color（24 ビット）に設定した状態で Direct3D 対応のアプリケーションを表示させた場合、ソフトウェアでの実行となるため、表示速度／表示画質に問題が発生する場合があります。この場合は色数を High Color（16 ビット）に設定してください。
- マウスカーソルにハードウェアカーソルを使用している場合、カーソルが変形する瞬間に点滅することがあります。動作上問題ありませんので、そのまま使用してください。
- デバイスマネージャ上で「更新」をクリックした瞬間、画面が一瞬途切れる場合があります。また、Windows95 の起動ロゴ画面で、一瞬フラッシュ（点滅）することがあります。動作上問題ありませんので、そのまま使用してください。
- 画面表示の開始時や表示モードが切り替わるとき（Windows95の起動および終了画面や省電力機能から復帰するときなど）、一時的に画面が乱れたり、横線が見えたりする場合があります。故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- アプリケーションが正常に動作しない場合は、次のいずれかの操作を行ってください。
  - 「リカバリ CD-ROM ／ドライバーズ CD」の「Update」フォルダ内に収録されているディスプレイドライバをインストールします。インストール方法は、「Update」フォルダ内の Install.txt をご覧ください。
  - 「画面のプロパティ」ダイアログボックスで色数の設定を変更します。
  - 次の手順で「ハードウェアアクセラレータ」を「なし」に設定します。なお、この設定を行うとアプリケーションによっては性能低下や音声などに問題が発生する場合があります。ご了承ください。
    1 「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

2 「パフォーマンス」タブの「グラフィックス」をクリックします。
3 「ハードウェアアクセラレータ」を「なし」に設定し、「OK」をクリックします。

画面表示に関する留意事項

- サスペンドから復帰するときなど、画面表示の開始時や表示モードの切り替え時に一時的に画面が乱れることがありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- 3D ポインタなどを使用していると、動画などを再生中にマウスポインタが表示されなかったり、ちらついて表示されたりすることがあります。このときは、「マウスのプロパティ」ダイアログボックス（「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックし、「マウス」アイコンをダブルクリックすると表示されます）の「ポインタ」タブの「デザイン」を「(なし)」に設定してください。

「スキャンディスク」実行中のメッセージ

「スキャンディスク」を実行中に、次のような警告メッセージが表示されることがあります。

「Windows または他のアプリケーションがこのドライブに書き込みを行っているため、再試行回数が 10 回に達しました。実行中の他のアプリケーションを終了すると、チェックが早く行われます。今後もこの警告メッセージを表示しますか？」

この警告メッセージはアプリケーションや、Windows95 のメモリスワップ機能が、ディスクに書き込みを行っているために表示されるもので、本パソコンの異常を表すものではありません。

「いいえ」をクリックして今後このメッセージを表示しないようにするか、「はい」をクリックしてそのまま処理を続けてください。

アプリケーションのインストール時／アンインストール時の留意事項

アプリケーションのインストール／アンインストールについては、次の点に注意してください。

- アプリケーションを削除する方法は、それぞれのアプリケーションごとに異なります。各アプリケーションのマニュアル、またはヘルプを参照してください。
- アプリケーションをアンインストールしたとき、そのアプリケーションに関連した、お客様が作成したファイルや設定した環境などが消えてしまうことがあります。アプリケーションを削除する前に、必要なファイルをフロッピーディスクなどにバックアップしておくことをお勧めします。
- アプリケーションをアンインストールする場合、共有モジュールは削除しないことをお勧めします。削除すると、インストールされている他のアプリケーションが起動できなくなるなど、他のアプリケーションに影響を与える場合があります。
- 各アプリケーションを再インストールしたあと、「スタート」メニューにショートカットは登録されても、アイコンが表示されない場合があります。このときは、パソコン本体を再起動してください。
- アプリケーションのインストールまたはアンインストールを行うときに、他のアプリケーションを起動していると、アプリケーションエラーが発生することがあります。必ず、起動中のアプリケーションをすべて終了してから行ってください。

- アプリケーションのインストール時に、インストールが完了したことを知らせるダイアログボックスが他のウィンドウなどに隠れてしまう場合があります。この場合は、【Alt】+【Tab】キーを何回か押して、完了を知らせるダイアログボックスを表示し、インストールを終了させてください。
- アプリケーションをインストールしたあと、タスクバーに不要なボタンが残る場合があります。この場合は、そのボタンをクリックすると、ボタンが消えます。
- 特定のファイルとアプリケーションが関連付けられている場合、そのアプリケーションをアンインストールすると、関連付けの設定も解除されます。
- 一部のアプリケーションでは、アンインストール後もスタートアップにアプリケーションのショートカットが登録されたままになっていることがあります。この場合は、「スタート」メニューの該当するショートカットを削除してください。

時刻の設定が反映されない場合

「日付と時刻のプロパティ」ダイアログボックス（「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックし、「日付と時刻」アイコンをダブルクリックすると表示されます）で日付や時刻を変更したあと、「更新」をクリックして設定した場合は、「OK」をクリックして「日付と時刻のプロパティ」ダイアログボックスを閉じてください。「キャンセル」または「×」で閉じると、変更した結果が正しく設定されない場合があります。

索引

記号

3 モードフロッピーディスク
ドライバ 15

A

Acrobat Reader 15, 54
　ーのインストール 41

C

CD-ROM 18

D

DirectX7.0a 15
　ーのインストール 40

F

FAT16 . . . . . 19, 34
FAT32 . . . . . 19, 34
FDISK 36
FM 一発修正 16, 48
　ーのインストール 41

I

Internet Explorer 3.02 17
　ーのインストール 42
Internet Explorer 4.01 SP2 15
　ーのアンインストール方法 20
　ーのインストール 39

L

LAN ドライバのインストール 39

M

MFC ライブラリ 16
MODEL 49
MS-DOS モードで CD-ROM を
利用する 27
MS-IME95 15
MS-IME97A 17

N

NIFTY MANAGER 17
　ーのインストール 43

O

OS 追加プログラム 16
　ー 49.7 日問題修正プログラム 16
　ー DMA 修正プログラム 16
　ー IFS マネージャ
　　修正プログラム 16
　ー URL Security
　　アップデートプログラム 16
　ー USB サポート 16
　ー西暦 2000 年問題
　　修正プログラム 16
　ープリンタドライバ
　　修正プログラム 16

P

Power MANagement for Windows 17
Product ID（Product Key）. 10

S

SCSI コントローラ 18

V

VirusScan 17, 24
　ーのインストール 42

W

Windows 95 ツール 15, 20
Windows95 15
　ー起動ディスク 13
　ーセットアップ 10
　ーの CD-ROM 54
Windows 環境調査ツール（WinDiag）. .15
　ーのインストール 41

あ行

アプリケーションの
アンインストール. 19
色数 28
お問い合わせ前の確認シート. 51

か行

解像度 28
カスタムメイド型番. 49
キーボード. 18
機種名 49
コンピュータウイルス. 24
　ーの被害届け. 25
　ーを発見した場合. 25
コンピュータ名. 11

さ行

サウンドドライバのインストール. 39
サウンド、ビデオ、およびゲームの
コントローラ. 18
使用許諾契約書. 11
情報サービス. 49
情報処理振興事業協会. 25
セットアップ. 10
ソフトウェアライブラリ
　ーアップデートプログラム. 16
　ーのアップデート. 38

た行

他の OS 54
ディスクドライブ. 18
ディスプレイ
　ーアダプタ. 18
　ードライバのインストール. 39
トラブルシューティング. 46

な行

名前 11
ネットワーク
　ーアダプタ. 18
　ー使用時の留意事項. 55

は行

ハードディスク
　ーコントローラ. 18
　ーの領域を設定する. 33
はじめよう！インターネット
（@nifty) 17
　ーのインストール. 42
プレインストール
　ー仕様. 15
　ーソフト. 15
フロッピーディスク
　ーコントローラ. 18
　ードライブクリーニング
　　ユーティリティプログラム. 16
プロトコルの設定 54
ポート（COM&LPT）. 18

ま行

マウス 18
モニタ 18

や行

ユーザー登録 12
ユニバーサルシリアルバス
コントローラ 18

ら行

リカバリ 30
リカバリ CD-ROM 起動ディスク 30
　ーの作成. 13
　ーの設定. 14
リカバリ CD-ROM ／
ドライバーズ CD 30
連絡先 49

わ行

ワークグループ 11

FMV-6933SL6/6800SL6/6667SL6c

FMV-6933CL6/6800CL6/6667CL6c

Windows® 95 モデル
ソフトウェアガイド
B5FH-1731-01-00

発 行 日　2000 年 10 月
発行責任　富士通株式会社

● 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
● 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
● 無断転載を禁じます。